様式第３号

事務事業評価表（令和 2年度）

事業コード	2272	課コード	0403	会計種別	一般会計	予算の種類	■政策　□経常　□なし

１．事業の概要(PLAN)

(1)事業概要	①事業名	基本事業		実施計画への位置づけ	○有　●無
		個別事業	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者への支援		②部課名：環境経済部・商業観光課
	③事業主体	●市　○その他（　）		④対象地区	□我孫子　□天王台　□湖北　□新木　□布佐　■全市
	⑤事業期間	令和 2年度　～　令和 2年度		⑥担当職員数	6 人　（換算人数　0.4 人）
	⑦事業費（人件費含む）	総事業費	110,704 千円	当該(開始)年度	（当　初）209,898 千円　（うち人件費　3,480 千円） （変更後）110,896 千円　（うち人件費　3,480 千円）
	⑧施策の位置づけ	施策コード：21101	重点プロジェクトへの位置づけ：重点２	基本計画地区別計画への位置づけ	○有　●無　／　部門別計画への位置づけ（計画名）
(2)目的	施策目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと産品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、商業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいか		事業目的	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、緊急事態宣言が発令され不要不急の外出自粛や休業要請があったことから市内の商業に売上の減少しているため、市内商業の継続を下支えする施策を実施する。
(3)事業内容	内　容	①１月から７月までを対象月として、市内に事業所等を有する法人及び個人事業主のうち、国や千葉県の給付対象外となる売上が前年同月比で２０％以上５０％未満減少した事業者に基本額１０万円を給付し、さらに市内に事業所を賃借している場合や市内に複数の事業所を賃借している場合には、それぞれ１０万円を加算して、最大３０万円を給付する事業継続支援金を実施する。 ②クラウドファンディングを活用して飲食店で使用できるチケットを販売するプロジェクトを我孫子市商工会、市内事業者と実行委員会を組織し、実施する。 ③８月から１２月までを対象月として、市内に事業所等を有する法人及び個人事業主のうち、国や千葉県の給付対象外となる売上が前年同月比で２０％以上５０％未満減少した事業者に１０万円を給付する事業継続支援金を実施する。		当該年度執行計画	事業継続支援金（１～７月分）：申請受付５月中旬～８月末。申請書の審査、交付手続きを随時行う。 クラウドファンディング：６月下旬に実行委員会を組織、７月下旬から約１ヶ月の期間でクラウドファンディングを実施、９月上旬頃に支援者にチケットを発送。チケットの利用は９月中旬～１２月末。 事業継続支援金（８～１２月分）：申請受付９月下旬～１月末。申請書の審査、交付手続きを随時行う。
				当該年度活動結果指標	支援金申請事業者数　単位：件　想定値：1,300　実績値：

(4)達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)	指標種類	指　標	単位	(5)現況値	(6)目標値
当該年度	クラウドファンディング支援額	直接	クラウドファンディング支援額	円	0	15,000,000
令和 3年度		－				0
令和 4年度		－				0

(7)事業実施上の課題と対応			
	コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないが、緊急策として実施する。 申請者・支援者を増やすために、積極的なＰＲを行い制度を周知していく。	代替案検討	○有　●無

(8)施行事項

	平成31年度		令和 2年度			令和 3年度		令和 4年度	
	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策 内容	金額(千円)	政策 内容	金額(千円)
実施内容 費　用			＊ 消耗品費	5					
			＊ 通信運搬費	268					
			＊ 手数料	145					
			＊ 事業継続支援金	200,000					
			＊ 事業継続支援金（９月補正）	△150,000					
			＊ 事業継続支援金（８～１２月）（９月補	50,000					
			＊ 商業者復興支援事業負担金	6,000					
			＊ 〃 負担金（予備費充用）	806					
			＊ 〃 負担金（予備費充用）	192					
予算(決算)額	合　計	0	合　計	107,416		合　計	0	合　計	0
国庫支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
県支出金	補助率 0 %	0	補助率 0 %	0		補助率 0 %	0	補助率 0 %	0
起債	充当率 0 %	0	充当率 0 %	0		充当率 0 %	0	充当率 0 %	0
一般財源		0		107,416			0		0
その他の財源	□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0		□特会 □受益 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □基金 □その他	0
(10)人件費等 換算人数(人)		0		0.4			0		0
正職員人件費		0		3,480			0		0
嘱託職員報酬額		0		0			0		0
臨時職員賃金額		0		0			0		0
事業費(予算(決算)額＋正職員人件費)		0		110,896			0		0
(11)単位費用（事業費／活動結果指標）	0千円／＊＊		85.3千円／件						

２．事業の評価(DO+CHECK)

評価項目		事　前　評　価		事　後　評　価（評価結果に応じ、改善案検討（拡充も含む））		改善検討
必要性	(1)事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、国から緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛や休業要請があったことなどから、市内事業者の売上が減少し、経済活動が低迷している。そのため、市内事業者の事業を継続させ、新型コロナウイルス感染症の収束後の経済活動の回復を図る必要がある。		○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由／想定どおりでなかった原因＞		○要 ○不要
	(2)市が実施する必要性はあるか？（市実施の必要性）	○①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できない （理由）□法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他	＜その他の内容＞	□①民間企業、ＮＰＯ、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他	＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞	○要 ○不要
		●②自治体である市が推進すべきである （理由）■市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他	＜その他の内容＞	＜その他の内容＞		
参加・協働の工夫	市民の参加や市民との協働を工夫しているか？（体制づくり）	参加・協働の内容： ○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ●⑤市民と共同で事業を実施 ○⑥その他 ＜その他の内容＞	工夫の具体的な内容： クラウドファンディングについては、事業計画から我孫子市商工会や市内事業者とともに実行委員会を組織して実施する。	実施した参加・協働の具体的な内容（又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容）	参加・協働の程度・内容： ○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由／期待以下であった原因＞	○要 ○不要
環境への配慮	環境に配慮して事業を進めているか？	配慮の視点： □①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 直接環境に影響を与える事業ではないが、事業の推進において省エネ化を図り、環境負荷の低減に努める。	取組む内容：	実施した具体的な内容	環境への配慮： ○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞	○ 要 ○ 不要
効率性	(1)目標設定は適切か？	現況値(a)(円)：0 目標値(b)(円)：15,000,000 目標値の妥当性のチェック： ■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象が有る場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		達成状況：実績値(f)(円)／達成率(%)(f/b×100) ○①目標値達成 ○②目標値未達成 ＜目標を達成した理由／未達成となった原因＞		○要 ○不要
	(2)事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減：事業費(c)(千円) 110,896／事業費削減額(d)(千円) — 事業費削減率(%)：— 実施予定の対策： ■①国・県助成制度活用　□⑤ＰＦＩ等民間資本の活用 □②現有体制での対応　□⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施　□⑦その他 □④民間委託 ＜削減の内容＞ 地方創生臨時交付金の対象事業		実施状況：実績値(g)(千円)／対事業費(%)(g/c)×100 ○①想定事業費未満 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過 ＜超過理由等＞	事業費の削減対策について： ○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞	○要 ○不要
	(3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か？（目標対費用）	目標値対事業費(e)：13,526.19　単位：円　費用単位：10万円 計算方法： ●①単年度の指標：目標値×費用単位／事業費 ○②複数年度の指標：（目標値－現況値）×費用単位／事業費		達成状況：実績値(h)／対目標値(%)(h/e)×100 ○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下	＜目標値以上となった理由／目標値以下であった原因＞	○要 ○不要

３．事後評価

○現状どおり推進　○拡充　○縮小　○結合　○休止　○廃止　○事業手法見直し　○その他(事業完了など)

評価	評価コメント	改善策及び展開方向